

平成30年度事業計画書

公益財団法人 高知県総合保健協会

平成30年度事業計画

1. 基本方針

健診機関を取り巻く厳しい社会環境の変化の中、平成29年度は、公的な健診機関として、総合的な健康づくりを積極的に推進し、県民に対し疾病予防、健康の保持・増進を図りながら、受診率や精度管理の向上に努め、県民の福祉の向上に寄与すべく役職員が一体となり力を注いできた。

厚生労働省は急激に進む高齢化社会で健康寿命を延伸することが大きな課題となっている中、特定健診・特定保健指導について、平成30年度より施行される第3期計画の中で見直し、新たな生活習慣病対策への取り組みを示したほか、事業所の従業員向けに実施する労働安全衛生法に基づく定期健康診断の項目についても特定健診との整合性から見直すことなど、健康増進施策を目標達成に向けて総合的に推進している。

また、同省は、職域のがん検診に初の指針を策定する方針を決定したが、その中では、公的がん検診指針と同様に、胃がん検診の対象年齢の引き上げ、隔年実施などの検査手法が推奨される方向で、前年と同様、当協会を取り巻く環境は依然厳しい状況の下にある。

このような状況の中、協会は国や県の健康増進施策に対し、迅速に対応するとともに関係機関と連携して、県民の健康づくりに深く関わり県民より信頼される質の高い保健サービスの提供に努める。

平成30年度の事業運営にあたっては、更なる業務の合理化や効率化による経費の節減に努め、公益法人として県民の健康保持増進に寄与することを主眼とし、特に下記の事項を最重要課題とした事業展開を図る。

記

1. 健診・検査収益の安定化対策とコスト低減対策

将来を見越した法人経営の安定化のためには、収入増加策と経費削減策の徹底が欠かせないことから、顧客の定着と新規開拓を進め、安定的な事業収入を確保するとともに、地域健診と職域健診の実施計画など既存事業の実施方法を積極的に見直し、健診スタッフの効果的、効率的な配置などを行い、業務能率の向上等に取り組み、財政基盤の安定化に努める。

2. 公益法人としての社会貢献

公益法人としての社会的使命・責任を全うするとともに、行政機関や関係機関との連携を深め、県民の目線に立ち質の高いサービスを提供することにより、受診機会の更なる拡大や一層の精検受診勧奨に努める。

また、第3期がん対策推進基本計画の施策にある「がん教育」についても、関係機関等との連携を図り取り組みの強化を推進すると共に、女性特有のがん罹患の若年化を見据え、大学等の学生との連携を図り、若年層へのがん知識の普及も強化する。

3. 受診率等の向上及びがん対策への取り組み強化

前年度に引き続き市町村と連携して、地域で保健活動に取り組む協力団体である高知県健康づくり婦人会連合会やいぶき会と連携し、健診受診勧奨の活動依頼を行うとともに、健診実施主体である市町村の検診担当者を対象に、実施計画や実施要領等の説明や意見交換を積極的に行い、これらを通じて特定健診をはじめ低迷する各種がん検診の受診率アップにつなげる。

併せて、各種がん検診及び生活習慣病予防健診の結果、精密検査・再が必要と認められた受診者に、実施主体の協力もと精密検査・再検査について医療機関からの未報告者等の調査を行い、精密検査・再検査の受診率向上に努める。

また、協会けんぽ加入事業所で生活習慣病予防健診の未受診事業所と扶養家族で特定健診未受診者を対象に積極的に受診推進活動を行う。

なお、本年度もピンクリボン運動やリレー・フォー・ライフジャパンへ引き続き参加協力し、県民のがんに対する意識を高めていく。

4. 南海トラフ地震大規模災害対策及び医療救護支援対応

B C P（事業継続計画）に則り、震災発生時に即応できる組織体制の充実を図るため、全職員を対象とした防災訓練を実施するとともに、防災用品の整備、備蓄に努める。

中央健診センターの（移転）整備に関しては、必要な資金を積立ながら検討を継続するとともに、大型車輛の車庫棟の移転についても実現にむけて取り組みを進める。

なお、高知県の補助金により整備した車輛や資機材を有効に活用するため、災害支援医療救護に関する職員の知識と技術の向上に努める。

5. 次期健診システムの構築

協会事業のサービス水準の向上、受診者の満足度の向上、健診・検査等の精度向上を図るとともに、業務運営の効率化を目的とする次期健診システムの開発を進め、平成31年4月の稼働を目指す。

II 個別事業

【1. 健診検査事業】

協会の基幹事業である健診検査事業については、精度管理の徹底を図ると共に、疾病の早期発見を行い、早期治療につなげることにより、県民の健康の保持、増進に資する。

(1) 地域保健事業

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
特定健診等	30,131	30,096	100.1	30,061
胸部検診	60,157	61,081	98.5	62,019
胃がん検診	24,324	25,379	95.8	26,480
子宮頸がん検診	11,171	11,832	94.4	12,532
乳がん検診	11,803	12,607	93.6	13,466
大腸がん検診	34,491	36,591	94.3	38,819
前立腺がん検診	4,368	4,397	99.3	4,426
肝炎ウイルス検査	1,401	1,474	95.0	1,551
胃がんリスク検査等	770	770	100.0	1,323

(2) 職域保健事業

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
定期健診	37,781	36,979	102.2	36,194
協会けんぽ健診	32,496	31,765	102.3	31,050
健保組合等健診	2,552	2,552	100.0	3,270
特殊健診 (件数)	8,000	8,867	90.2	7,182
	有機溶剤・特定化学物質・鉛・石綿・じん肺・電離放射線・高気圧指導勧奨によるもの (VDT作業/腰痛/騒音作業/振動作業) など			

(3) 学校保健事業

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
胸部検診 (結核)	15,552	15,458	100.6	15,365
尿検査	47,551	48,780	97.5	50,041

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
寄生虫卵検査	7,457	8,736	85.4	10,234
心臓検診	17,713	17,744	99.8	17,775
小児生活習慣病健診	324	347	93.3	372
学生定期健診 (県立大等)	4,068	4,068	100.0	3,992

(4) その他保健事業

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
人間ドック健診	5,915	5,915	100.0	5,988

(5) 職域・その他保健事業の単独検診・追加検診検査等

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
胸部検診	10,801	10,609	101.8	10,420
胸部CT検査	666	643	103.5	621
胃がん検診	866	866	100.0	2,270
胃内視鏡検査	1,350	1,350	100.0	1,376
胃がんリスク検査等	1,710	1,707	100.1	1,704
乳がん検診	8,193	8,116	100.9	8,040
乳房超音波検査	724	724	100.0	465
子宮頸がん検診	8,668	8,844	98.0	9,024
HPV検査	530	472	112.4	420
膣部超音波検査	2,539	2,537	100.0	2,535
前立腺がん検診	3,663	3,730	98.2	3,798
肝炎ウイルス検査	3,427	3,427	100.0	2,660
内臓脂肪CT検査	302	309	97.8	316
骨粗鬆症検査	889	911	97.5	934
血圧脈波検査	576	618	93.2	663

(単位：人)

区 分	平成 30 年度計画 (A)	平成 29 年度見込 (B)	増減率 (%) (A) / (B) *100	平成 28 年度実績
特定保健指導	1,000	1,354	73.9	953
子宮頸がん検診 受託細胞診検査	8,874	8,874	100.0	9,448
ストレスチェック検査	3,261	3,261	100.0	3,402

■ 平成 30 年度健診検査事業予算

☆総 額

約 600,684 千円

《特徴的な事業、取り組み》

- ① 高知県からの補助事業(継続) = 市町村検診の利便性向上対策事業
市町村検診のセット化等に係る人員の配置 10,104 千円
- ② 地震・津波防災対策事業(継続) 1,000 千円

【参考】

設備投資計画(主なもの)

- ① 健診センター(高知・幡多)の施設の改修 12,062 千円
- ② 子宮がん検診車の改装 8,640 千円
- ③ スタッフ車輛の更新3台(高知・幡多) 11,145 千円
- ④ 複合機(コピー機)の更新(高知) 4,000 千円
- ⑤ 上部消化管汎用ビデオコープ(2本 高知・幡多) 7,776 千円
- ⑥ デジタル眼底カメラの更新2台(幡多) 4,968 千円
- ⑦ デジタル眼圧計の更新(幡多) 1,414 千円
- ⑧ 健診検査システム(ソフトウェア) 250,000 千円
- ⑨ 健診検査システム(ハードウェア) 110,414 千円

【2. 普及啓発事業】

当会の設立目的を達成するための重要な事業の一つである各種疾病の正しい知識及び予防思想の普及啓発事業について、各種行事の開催、広報資料などの配布、健康に関するイベントへの参画などにより行う。

また、結核に関する事業の受託や結核関連図書の斡旋などを通じ、結核の普及啓発を図る。

(1) 行事による広報

がん征圧月間、結核予防週間にテレビ、新聞等による広報、冊子、パンフレット、チラシの配布等により、疾病に対する正しい知識及び予防思想の普及に努める。また、がん征圧月間、結核予防週間中に一般住民を対象とした、結核、胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がんの無料検診を実施するとともに、結核及びがん予防を中心としたパンフレットやチラシ等を配布し、検診の重要性の啓発を図る。

(2) 資料による広報

県、市町村等関係機関に依頼し、本部及び協会制作の機関誌等を定期的に配布し、窓口に展示、または掲示する等により広報を行う。

また、県、各市町村、高知県健康づくり婦人会連合会、いぶき会等関係団体が行う健康に関する行事に、パネルの展示及び各種疾病に関するパンフレット等を配布し、広報を積極的に展開する。

※ 普及啓発資料（8P）に掲載

(3) 協力組織との提携

イ. 高知県健康づくり婦人会連合会及びいぶき会が行う健康づくり推進大会、リーダー研修会等に参加、又は共催し、健康づくり推進の底辺の拡大を図る。

また、両会から特定健診や各種のがん検診など地域での積極的な受診勧奨の協力を得ながら、受診率の向上及び予防思想の普及啓発を進める。

ロ. 両会の運営補助及び健診受診勧奨などの活動に対し一部資金を助成する。

(4) (公財) 結核予防会本部が行う結核撲滅のための複十字シール募金事業に積極的に参画し、高知県健康づくり婦人会連合会、高知県、市町村、事業所他関係団体の協力を得て県下全域で実施する。また、がん対策を推進し、がんに対する正しい知識の普及啓発を行うための募金活動を行う。

(5) 高知県から受託による結核予防の啓発事業

イ. 結核予防啓発事業

結核予防の普及啓発を積極的に図るため、結核予防に関するチラシや「結核予防週間」を印刷したポケットティッシュを各福祉保健所や高知医療センターなど主要な病院に持参若しくは送付して、院内等で配布を依頼し啓発活動を行う。

※ マスク1, 800個、ポケットティッシュ20, 000枚作成の

予定。

ロ. 結核患者相談事業

結核に関する「呼吸不全の講演と相談会」と題して、専門の医師による講演・相談及び呼吸リハビリの実技など当協会で開催する。

(6) ピンクリボン運動及びリレー・フォー・ライフジャパン高知 2018 等への協力

イ. 乳がんの早期発見を目指すピンクリボン運動へ参加し、マンモグラフィ無料検診や乳がん視触診モデルの無料貸し出しを実施する。

ロ. がんと闘う方々の勇気を称え、がんで亡くなった方を偲ぶなどのイベント、リレー・フォー・ライフ in 高知への参加、乳がんの早期発見を目的とするマンモグラフィ無料検診を実施する。

ハ. 子宮頸がん啓発&予防活動「LOVE 49」に参加、街頭での関連するパンフレット等配布し、検診の受診など呼びかける。

(7) 結核専門図書の斡旋による啓発

結核に関する図書について、高知県・高知市保健所を含む県内各福祉保健所及び病院等から依頼を受け、公益財団法人結核予防会に図書の斡旋を依頼する。

■平成30年度普及啓発事業予算

☆総 額

約10,817千円

《特徴的な事業、取り組み》

① 健康生き生き推進事業(継続)

平成29年度に引き続き高等学校の生徒を対象に、高知県や高知県健康づくり婦人会連合会の協力を得て、「いのちの授業 がんを学ぼう」と題して、県や専門の講師による講演を実施し、健康に関する知識を広く発信する。

② 若手職員で構成する「機関誌企画委員会」の取り組み(継続)

機関誌(健康スマイル)の企画の充実を図るとともに、若手による広報活動の提案など幅広く討議し、時代のニーズに合致した普及啓発活動を今後も積極的に行う。

普及啓発資料

資 料 名	部 数
がん征圧月間ポスター	800部
禁煙ポスター	100部
複十字誌	250部
対がん協会報（増刊号を含む）	7,600部
予防医学ジャーナル	180部
健康づくりの知恵	1,000部
健康づくり100の謎	200部
肺の生活習慣病COPD	250部
生活習慣病のしおり	10部
がんのしおり	3部
がん検診	400部
乳がんと子宮頸がん	9,000部
全国一斉複十字シール募金キャンペーン資材	—
健康スマイル（協会機関誌）	6,000部
がん検診のススメ	500部

【3. 調査研究事業】

(1) 専門委員会等の開催

事務局を当協会に置き、学校心臓検診専門委員会及び学校心臓検診運営委員会並びに前立腺がん専門委員会を県内の専門的な先生方でそれぞれ組織し、検診の実施に関する調査研究等を目的とした委員会等を開催する。

(2) 職員の意識改革、精度や技術の向上

県内外の関係団体等が開催する講習会や研修会などへ職員を積極的に参加させるとともに、日本消化器がん検診学会・予防医学技術研究集会、日本総合健診医学会などにおいて、研究発表を行う。

(3) 職員の派遣

公益法人の健診機関として、市町村の要請に応え医師など専門的職員の派遣を積極的に行い、市町村と一緒に住民の健康づくりを行う。

(4) 実績データの活用

当協会の収集・集積した各種の健康診断の実績データを、協会内部での活用ほか、高知県、結核予防会、日本対がん協会、予防医学事業中央会、日本総合健診医学会などへ提供し、公衆衛生の向上につなげる。

■平成30年度調査研究予算

☆総 額

約4,290千円

《特徴的な事業、取り組み》

- ① 実績データの活用への取り組み
上記(4)の関連